

事務局長
鈴木康之

TEL0463-58-7587
FAX0463-58-7587

ひらつか・9条の会 ニュース

2007 新年

t-koyama@yc4.s
o-net.ne.jp

きけわだつみのこえ 日本戦没学生の手記

上原良一 .. 慶應義塾大学 経済学部学生。昭和十八年十二月入隊
昭和二十年五月十一日 特攻隊員として沖縄にて戦死。二十二歳。

書簡「明日は自由主義者が一人去る」

・・・思えば長き学生生活を通じて得た信念と申すべき理論
万能の道理から考えた場合、これはあるいは自由主義者といわ
れるかもしれないが、自由の勝利は明白なことと思います。
人間の本性たる自由を滅ぼすことは絶対に出来なく、例えそれ
が押さえられている如く見えても、そこには常に戦いつつ最後
には必ず勝つということは、かのイタリアのクロチエも言っ
ている如く真理であると思います。権力主義的国家は一時的に
隆盛であろうとも、必ずや最後に敗れることは明白な事実で
す。我々はその真実を今時世界大戦の枢軸国家に於いてみるこ
とが出来ると思います。ファシズムのイタリアは如何に。ナチ
ズムのドイツもまたすでに敗れ、すでに権力主義国家は土台石
の壊れた建築物の如く次から次へと滅亡しつつあります。真理
の普遍は今、現実によって証明されつつ、過去に於いて歴史が
証明した如く未来永劫に自由の偉大さを証明していると思ひ
ます。・・・中略・・・愛する恋人に死なれたとき
精神的には一緒に死んでいました。天国において彼女と会える
と思うと死は天国に行く途中でしかありません。明日は出撃で
す。・・・明日は自由主義者がこの世から去っていきます。
かの後ろ姿は寂しいですが、心中満足でいっぱいです。・・・
出撃の前夜記す。

国会では

国会会期末。国会の多数で強行した教育基本法の改正。防衛省の昇格。これらの事実を今考えていく必要があります。

やらせで世論誘導した教育基本法の中身は教育の国家統制のみ。いじめの解決法は見いだせず。また、自衛隊は自国の防衛のみと防衛庁としてきたが、防衛省の昇格は自衛隊の海外派兵を前提としたもの。あとは憲法9条改定のみ。改定反対の運動を高めよう。

運営委員会 = 新春の集い

日時：2007年1月13日(土)10時~12時
場所 YWCA 八重咲町24-31 21-1990

会費1000円 差し入れ大歓迎!!

1月の運営委員会はいつもの会議スタイルを変え、飲食しながら、これからの9条の活動や日ごろ思っていることなどをみなさんと語り合いたいと思います。どうぞみなさまご参加ください。

・準備の都合上、参加される方は1月5日迄に事務局迄ご一報ください 鈴木 fax 58-7587

2007年の活動

会員千名を目標(現在500名弱)

- 1月 新春の集い
- 2月 学習会 「国連憲章と国際平和活動」
- 5月 総会
- 6月 学習会 「国民保護計画について」
- 8月 学習会 「国民投票法案」

第4回「平和を語りつぐ」展

11月1日～5日 平塚美術館市民ギャラリーで第4回「平和を語りつぐ」展が開催され、800名の観客があった。市内で平和活動をしている7グループによる展示と、8名の方による体験談、ビデオ上映が行われた。初参加のひらつか・9条の会は、実行委員の森本さんや、田口さんを中心に“憲法9条が改定されたらどういうことになるのか”を、質問に答える形でパネル18枚と写真で展示し、9条の大切さを訴えた。又、拙島さんの東京大空襲の体験パネルも展示した。戦後60年、その間、かろうじて戦争をせずにこられた日本ではあるが、体験談を聞くにつけ、戦争の傷跡は深く、今も多くの人々を苦しめていることを再認識する。毒ガスは私たちの身近なところにも埋まっているという事実。日本中に、中国に、インドネシアにと。それら进行处理しないばかりか、調査報告さえしようとする国のあるに憤りが増す。共同して平和を考え、行動するこの展覧会の意義は大きい。9条へのカンパ11760円。ご協力に感謝いたします。

「子どもに伝える戦争体験」ドイツでの実例

12月9日(土)午後2時～4時 ひらつか市民活動センターで浅井イゾルデさん(在日ドイツ人)を講師にお招きして学集會が開かれ、雨天にもかかわらず40名の方が参加した。ドイツでの学校教育についてユーモアを交えて語るイゾルデさんのお話は興味深く、参加者は熱心に聴き入った。

下記はイゾルデさんのお話の概要です。

ドイツは欧州で中央に位置し、9カ国に囲まれていて隣国フランスとポーランドとは戦争の歴史であった。自国がもたらした侵略戦争を反省し、互いの歴史教科書作りに第1次大戦以降から携わり1951年には了承された。ドイツの中学高校では、日本史・世界史のそちらかを選択する日本と違い、歴史科目はひとつで必修。自国の行った事実を隠さず伝え、他国の考え方や戦争で儲ける人がいることまでも示し、教師が方向性を教える



のではなく、生徒が自ら考える教育をしている。国が残したクヤ人収容所には、教師が生徒を連れ積極的に見学に訪れている。教科書は統一したものでなく、生徒が好きな教科書を選んでいる。

緑の党がドイツの軍隊を海外派兵し、ユーゴスラビア戦争に参加したことをドイツ国民は悔い一時期は軍隊をなくそうとまで論議した。日本は9条改憲をゆるしてはなりません。

「日本の青空」製作の協力

目下、撮影中の映画「日本の青空」は、憲法改悪に反対し、反戦平和を希求する作品です。監督は「月桃の花」の大澤豊氏。内容は、日本国憲法成立の際、GHQが手本にしたのが民間人による「憲法研究会」作成の憲法草案で、その研究会の中心人物であった憲法学者鈴木安蔵の足跡を辿るというもの。高橋和也、藤谷美紀、加藤剛、穴戸開らが出演する。については過日、制作会社インディーズから制作費2億円を捻出するための協力の要請があり、運営委員会で再三論議した結果、ひらつか9条の会として協力することになった。制作協力券(1枚1000円)を1口(100枚分=10万円)以上ということから2口以上を目標に決め、会の持ち金は僅かしかない現状から、会員の有志による調達を行うこととした。尚、協力券は、上映の際の(来年3月完成予定)映画鑑賞券として使えますので、カンパとは違います。加わってもよいと思われる方を募集しています。

12月25日までに森本まで(33-0344)お知らせいただければ幸いです。

お知らせ欄

寺田さんの「9条の詩集」を300円で大原穰子さんと小山内美江子さんの講演のCDがあります。希望者は事務局まで。

会員の皆様へ

- ・ ニュース手配りのご協力
- ・ ニュース発送作業のご協力
- ・ 地域の地図(町内会で配布のもの)の提供